

令和元年度 三田市レジ袋ゼロ推進懇話会 会議概要

日時：令和元年 11 月 18 日(月)14:00～15:30

場所：三田市役所本庁舎 4 階 401 会議室

1 出席者

出席者 7 名(市民団体：4 名 協定締結事業者：3 名)

市民団体：

三田市消費者協会会長 石出 正子・三田市老人連合会副会長 平井 洋子

兵庫六甲 JA 三田女性会副会長 今西 栄美子・三田市商工会主事 紅葉谷 亜季

協定締結事業者：

生活協同組合コープこうべ 松井 清武・兵庫六甲農業協同組合三田営農総合センター

販売チームリーダー 拜郷 隆志・ドンキホーテ三田店店長 伊藤 正俊

市民傍聴者 1 名

2 議事内容

(1)平成 30 年度のレジ袋削減実績報告

資料①に基づき事務局より報告

➤ 地球温暖化及び Co₂ 削減について

⇒レジ袋ゼロ推進懇話会は、地球温暖化防止や Co₂ 削減に市民レベルで出来る活動はないか、という思いではじめた取り組みである。

⇒高齢ドライバーの事故が多い中、公共交通機関の利用促進をまちぐるみで行うことが、高齢ドライバーの事故防止、Co₂ の削減につながるのではないか。

⇒レジ袋削減が Co₂ 削減につながるイメージができていなかったのが参考になった。同じ様な市民も多いと思うので、もう少し PR してもよいのではないか。

(2)取組み内容の報告

資料②に基づき事務局より報告

(3)今後の取組み案

資料③に基づき事務局より報告

➤ レジ袋有料化義務化に関する検討

⇒阪神間の市担当者間でも有料化義務化を前にして、意見交換の会議があった。

⇒すでに有料化にしているの、店舗で新たに対応することは特にない。ただし、店舗外で対面販売する場合は、レジ袋が必要なことが多いので検討が必要である。

⇒商品によっては、中身が見えない様に無料で色付きのレジ袋に入れる場合もある。有料化後の対応の検討が必要である。また、生分解性などレジ袋の材質変更を検討する必要があるのではないかと考えている。

⇒自社では、現時点でレジ袋を有料化しているのは三田店が全国初である。全国展開しているの、有料化は本社が動かないと難しい。ポイント還元などのサービスはできてきているが、マイバッグ利用者が少ないのでアピールが必要である。

➤ マイバッグ持参率 90%を目標にしている。現在は 1 種類のレジ袋で持参率を出している。有料化後は、4～5 種類のレジ袋が対象になると思う。レジのシステム設定を変えるのが大変なので、持参率がちゃんと出せるのか不安である。今後、協定書の目標値の出し方が決まっていれば教えてほしい。

⇒無料配布の中止が柱となっている現在の協定書では、来年7月のレジ袋有料化義務化後は協定内容がそぐわないため、見直しが必要である。有料化が導入される前に懇話会を開き、各事業所の方向性や新たな目標設定など意見交換の場を設けていただきたいと考えている。それまでに、各事業者アンケート等でご意向を聞かせてもらう予定である。

➤ 今後の活動に関する意見

⇒レジ袋有料化義務化後に国から事業者に対してレジ袋辞退率等の実績報告など調査があると思う。しかし、国が取り組む10年ほど前からすでに取り組んでいたのだから国の状況が変わっても、今後も三田市は三田市で続けていくべきである。

⇒このような取り組みをやっている自治体は少ないので、参加させてもらっている。店内にポスター等掲示できれば、もっとPRができる。

⇒マイバッグ運動は市民運動としての方向性はいいと思う。協定書の見直しは必要だが、やめることは考えていない。さらにアピールしていきたいと思っている。

➤ 協定事業者が有料化にして、配布枚数を減らしても、締結していない事業者が、レジ袋をどんどん無料配布していたのでは意味がない。協定事業者一覧を協定していない事業者に見せてはどうか

➤ 懇話会が始まった根底には、レジ袋をきっかけに地球に優しいことをしようという考えがある。レジ袋削減協定締結事業者までいかなくともレジ袋削減協力事業者という書き方もできるのではないか

⇒できることもあるかもしれないので、考えさせてもらう。

➤ 啓発ポスターやマイバッグキャンペーンなどの啓発活動について

⇒懇話会の開催やマイバッグキャンペーン、ポスター掲示など継続してできる部分は、引き続き行っていきたいと考えている。

(4)三田市レジ袋ゼロ推進懇話会規約の変更

➤ 三田市レジ袋ゼロ懇話会規約第6条の変更を提案。ごみ減量化・再資源化推進担当課をレジ袋削減事務担当課に変更する。

⇒変更案は可決する

➤ 今後として

⇒名称がレジ袋に限定されているのはどうか。もう少し広い観点から取り組む必要がある。規約の内容や名称の変更も検討してはどうか。

【決定事項】

➤ レジ袋有料化義務化前に懇話会を開き、各事業所の方向性や新たな目標設定など意見交換の場を設ける

➤ 三田市レジ袋ゼロ推進懇話会第6条の変更。令和元年11月18日から施行し、同年11月19日から適用する。

【今後の取組み】

➤ 啓発ポスターの作成を行い、レジ袋削減協定締結事業者等に配布し啓発の実施

➤ イベントにてレジ袋削減の呼びかけと啓発資材の配布するキャンペーンを継続

➤ レジ袋削減協定締結事業者及びレジ袋削減協力事業者の拡大